

茅野市ゼロカーボン戦略（案）に関する
パブリックコメントにお寄せいただいたご意見と市の考え方

茅野市ゼロカーボン戦略（案）に関するパブリックコメントを実施したところ、下記のとおり貴重なご意見をいただきました。

いただいたご意見の概要とそれに対する市の考え方をまとめましたので、公表いたします。

記

○パブリックコメントの実施状況

1 意見の募集期間	2 意見の提出者数と件数		3 意見の提出方法別人数				
	提出者	件数	メール	郵送	FAX	持参	計
令和6年5月16日（木） ～ 6月14日（金）	1人	4件	1人	人	人	1人	2人

※同一意見提出者から複数項目にわたるご意見をいただいている場合があるため、意見提出者数と意見件数は一致しない場合があります。

4 いただいたご意見とそれに対する市の考え方

No.	該当する箇所等	いただいた意見の概要	市の考え
1	計画の整合性について	茅野市の計画は、内閣府や環境省、長野県の方針等に整合しているか、また、茅野市の現実に合っているのか。	本編9ページから記載してあります国内外の動向については、その内容を確認しています。そこから、本市の気候特性、地域特性(本編13ページから記載)を踏まえ、茅野市における計画として策定しています。
2	概要版4ページ これまでの取組について	市内においてEV充電器の設置箇所が3箇所は少ないのではないかと。のらぎあをEV化するには足りないのではないかと。	のらぎあをEV化するには十分とは考えておらず、増設は必要だと考えております。その候補地として、病院や商業施設等を検討していきます。(概要版12ページ、本編57ページ)
3	概要版8ページ 庁内意見交換メモについて 概要版10ページ 重点施策の柱4について	タクシーの利用促進、EV、ソーラーカーポートとあるが、充電設備設置後のEV車の導入等についてどうするのか。量産型EV車については、バッテリー技術の開発実験段階であり、導入は時期尚早ではないかと。	次世代自動車化について、EVに限定して取組みを進めるということではなく、あくまで選択肢の1つと考えています。 また、ソーラーカーポートの導入についても、次世代自動車普及促進のための手立てとして、こちらも選択肢の1つとして検討をしていく考えです。ソーラーカーポートについては、EV利用目的に限定せず、家庭内における消費目的としての設置も可能と考えます。

4	全般	茅野市のGXについて、DXとの整合性、未熟な技術の活用による計画自体の実現可能性に疑問を感じる。	ゼロカーボン社会の実現に向けた技術開発については、確かにまだ開発途上のものも多く存在します。しかしながら、取組を進めることで見える課題もあるかと思いますので、茅野市だけではなく、社会全体における地球温暖化対策推進のため、国、県、他自治体、民間企業、市民一体となって取組を進める考えでおります。
---	----	--	--